



募金へのご協力ありがとうございました
ベンチの寄贈がありました

6月8日、志布志市共同募金委員会（竹井道徳委員長）から、ベンチの寄贈がありました。

同会は、赤い羽根共同募金の配分金でベンチを22台作成し、市内の公共施設などに設置しました。

毎年10月から12月に全国一斉に行われる同募金活動により集められた募金は、例年、福祉に関する事業等に使われています。今年設置したベンチは、直接市民に利用してもらえるように導入されました。

インターハイに出場します

志布志柔道スポーツ少年団出身で、国分中央高校1年の前田千島さんが5月31日に行われた鹿児島県高等学校柔道大会52kg級で優勝し、8月に富山県で行われるインターハイへの出場が決まりました。

また、20歳以下で行われる鹿児島県男女ジュニア柔道体重別選手権大会でも優勝、九州ジュニア体重別選手権へ出場しました。さらに同少年



きょうだいそろっての活躍が期待されます！



おいしく頂きました

6月21日、松山町泰野の社会福祉法人松山やちつく会特別養護老人ホームで、志布志町のマルチョンラーメンが出張し、利用者にボランティアでラーメンを提供しました。同店は今年で50周年を迎え、社会福祉活動として地域に貢献したいという思いから100食を準備。同老人ホームはお店さながらの雰囲気、利用者も満足した様子でした。

同老人ホームの横山滋施設長は「こちらからの提案を快く受け入れていただいた。同施設の栄養士とも打ち合わせてもらい、工夫してもらった。普段外で食事をすることが難しい人も店で食べる雰囲気味わえたのでは」と話しました。



食べることの大事さを学びました



収穫が楽しみです

田植えを行いました！

6月18日、八野地区の水田で、知的障害者作業所「しぶし夢しずく工房」の皆さんが毎年恒例の田植えを行いました。

同工房が作る焼酎「夢しずく」の原材料になる米で、同工房の利用者とスタッフなど6名が参加し、田植えを行いました。

参加した利用者の方は「まっすぐ苗を植えることが出来て良かった。秋の収穫が楽しみです」と感想を話してくれました。

5月24日と25日、志布志市ふるさと協議会が「水辺のサポート推進事業」と「ふるさとの道サポーター事業」の一環として、毎年実施している草払いや、ゴミ拾い等のボランティア活動を、それぞれの支部に分かれて行いました。

5月24日には有明支部が菱田川及び県道宮ヶ原大崎線を、同日志布志支部は前川及び県道南之郷志布志線を作業し、5月25日は松山支部が松尾川及び県道塗木大隅線を作業しました。

総勢141名による作業の実施により、大変景観が良くなりました。同協会はこのようなボランティア作業を年内に数回実施する予定です。



ボランティア活動を行いました

市内の景観美化に努めます！

6月8日、志布志市管工事サービス連絡協議会（高吉修会長）が、市内の一人暮らしの高齢者76人を対象に、水道配管、漏水などの無料点検を行いました。

このボランティア活動は同協議会に加入している市内の17事業所が、社会貢献したいという考えの下、一人で生活する高齢者の利便のために毎年行われています。

早朝から集まった各事業所の皆さんは、志布志市老人福祉センターで全体の出発式を行ったあと各地域に分かれ、地元の民生委員の案内で高齢者宅を訪問、点検や簡単な修理を無料で行いました。



地域の高齢者の生活を守ります

6月10日、蓬の郷親水公園で、あじさいまつりが開催されました。あじさいまつりが開催されました。同まつりは今回が9回目の開催で、80人以上の来場者があり、遠くは鹿児島市、霧島市、都城市などからの参加もありました。

挿し木講習会などの講師を、第1回あじさい祭りから務めている中川光男さんは「花を間に挟むとコミュニケーションがスムーズにとれ、人と人の繋がりが生まれます。多くの人が祭りに参加して繋がってもらえると嬉しい」と話しました。

開会式の後には、あじさい切り放題、挿し木講習会などのイベントがあり、参加者はあじさいの上手な育て方に耳を傾けていました。



あじさいまつりが開催されました

満開のあじさい、綺麗でした

5月28日、泰野小学校で鹿児島県介護実習・普及センターのジュニア福祉体験教室が開催されました。体験教室に参加したのは4年生の児童で、車いすの自走・介助の体験や高齢者疑似体験などが行われました。児童たちは2人一組で、白内障の場合の見え方を再現したゴーグルをかけ、車いすに乗り、介助される側と介助する側の両方を体験しました。教室に参加した大塚優花さんは、「もっとユニバーサルデザインのことを知って、体の不自由な方のために進んで声かけをしたり、手助けしたりしていきたいです」と体験後の感想を話してくれました。



お互いに声を掛け合っていました

食について学びました

6月21日、松山小学校で、桑原智江栄養教諭による「給食のきまりと食べ物栄養について知ろう」と題した、食育の授業が行われました。

授業を受けたのは同小学校の2年生の児童で、食事をする時のルールやマナー、また食べ物には様々な栄養があり、バランスよく食べることが大事であることなどを学びました。

熱心に授業を受けていた児童は、「感謝の気持ちを持って、好き嫌いをせずに残さず食べたい」などと話しました。また桑原栄養教諭は「食生活の乱れが目立つ時代だが、食の大切さを学んで、家でも学校でも活かして欲しい」と話しました。